

THE FLOWERLESS VASE

作品情報

- ・ **タイトル：『The Flowerless Vase』(フラワーレス・ヴェイス)**
- ・ **企画書 作成者：佐藤快翔**
- ・ **ジャンル：横スクロール2Dアクション/メトロイドヴァニア**
- ・ **対応機種：PC (Steam)、PS5、XBOX Series X/S、Nintendo Switch2**
- ・ **プレイ人数：基本プレイ1人**
- ・ **メインターゲット：ダークファンタジーや美しいアートスタイルを好むプレイヤー
奥深いキャラクター育成と探索を楽しむプレイヤー(主に20〜30代男性)**
- ・ **価格帯の想定：¥3,800〜¥4,800(税込)の買い切り型**
- ・ **当企画書は一部AIで出力した画像を使用しています。**

「鉢植えよ、花を咲かせ。」

個性豊かな花たちを入れ替えながら
荒廃した世界で過去を紡ぐ2DアクションRPG。



① 鉢植えの頭を持つ主人公が失われた記憶と「運命の花」を求める儂くも美しい旅

② 集めた「花の種」を自身の頭に植え、咲いた花の力をスキルとして戦うアクション

③ 「植物図鑑」に旅の発見を記録し、自身の謎と物語の真相に迫る探求





栄養剤

ステージ内で見つけたり、特定の場所で購入できる「**栄養剤**」を使用することで、主人公のHPを回復させることができます。

成長の水

敵を倒したり、ステージ内の水源から吸収することで「**成長の水**」を入手します。

水は主人公のレベルアップに使用され、体力、攻撃力、移動速度などの基本能力を向上させます。

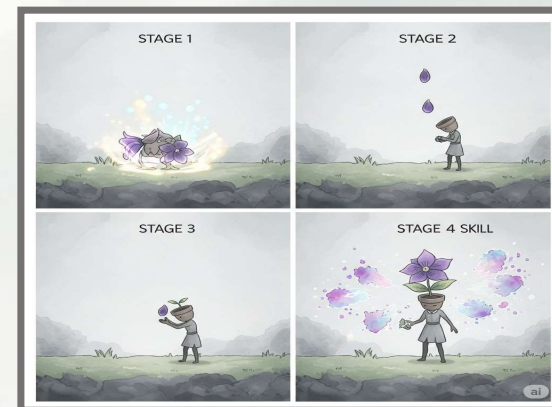
その他に水は一部スキルの使用コストとしても機能します。

基本システム・植物図鑑

基本システム

本作は、個性豊かな**花の異形**たちを倒し、**種**で力を取り込みながら、**「運命の花」**を探し求める横スクロール2DアクションRPGです。

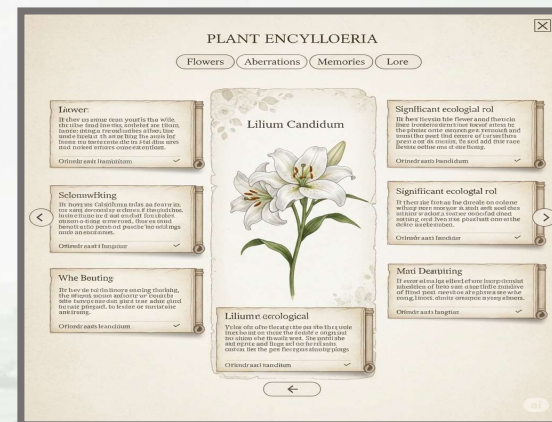
プレイヤーは各ステージを探索し、ボスを撃破して次のステージへと進み、最終的なエンディングを目指します。



植物図鑑

新しい花や敵の異形、記憶の断片、世界の伝承などを発見すると、ゲーム内の**植物図鑑**に登録されます。

花や敵の生態、短い物語、そして**主人公の失われた記憶の断片**(テキストや静止画)が記録され、それらを読み解くことで、自身の謎と物語の真相に迫ります。



コアメカニクス(花の付け替え)

「花の付け替え」

種の収集: 敵を倒すと、その敵をモチーフとした「種」をドロップします。

個性豊かな花: 鉢植えに植えられた花は、それぞれ
固有のアクションスキルを持っています

状況に応じた花のスキルを活用することで、冒険を有利に進められます。

花のスキル	有効な敵・設備
バラの棘を飛ばす攻撃	近距離で強力な敵
タンポポの綿毛で滑空	落下の危険がある高所
ポピーの香りで眠らせる	動きの俊敏な敵
ユリの炎で燃やす	茨の障害物
ヒマワリの光で照らす	照射式の扉



交配システム

花の交配

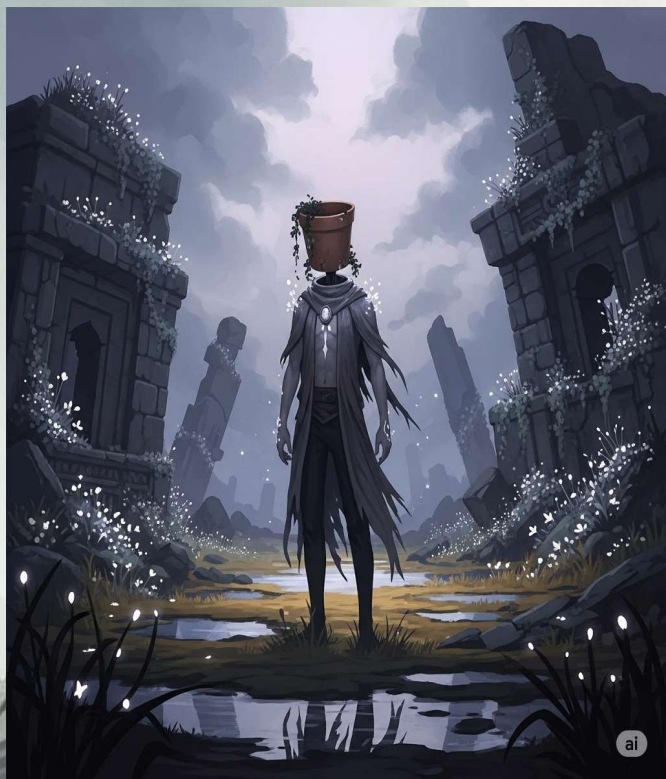
ゲームが進行すると2種類の「種」を頭部の鉢植えに同時に植える「交配」が可能となります。

例として、「バラ」と「ユリ」の種を交配させることで「炎の棘を飛ばす」全く新しいハイブリッドスキルを持つ花の種が完成します。

交配システムはプレイヤーが使用できるスキルの数を爆発的に増加させ、スキルの組み合わせを試行錯誤する「実験と発見」の楽しさを生み出します。



キャラクター紹介



The Flowerless Vase(主人公)

記憶も、咲くべき花も失った、虚ろな鉢植え。
失われた「**運命の花**」の面影を追い求め、道中で出会う花の力を
その身に宿しながら、自らが何者であるかを知るために旅を続ける。

ENEMYS



ヒマワリの種



彼岸花の種



アジサイの種



ユリの種

探索と発見

荒廃した美しい世界を探索し、新たな道やアイテムを発見する。
行く先々で、失われた記憶の断片や、新たな花の「種」と出会うことになる。



戦闘と成長

花の異形たちと対峙し、その力を示す「種」を手に入れる。
手に入れた種を自らの頭に植えることで、新たなスキルを獲得し、主人公は成長していく。

物語の進行

成長して得た新たなスキルで、以前は進めなかった道を切り拓く。
世界の謎と、主人公が「運命の花」を失った過去の真相に、一步步近づいていく。



セールスポイント

独創的な主人公とアクション

花のない鉢植えが、花を咲かせて戦う直感的なスキルシステム

没入感の高い世界観

繊細なアートで描かれる、儚くも力強い「花」たちの物語

探索と収集の魅力

植物図鑑を埋めながら、世界の謎と自身の過去に迫る探求心